

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公表番号】特表2007-516209(P2007-516209A)

【公表日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2007-023

【出願番号】特願2006-519970(P2006-519970)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/14 (2006.01)

A 6 1 K 33/30 (2006.01)

A 6 1 K 8/64 (2006.01)

A 6 1 Q 7/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/41 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 8/35 (2006.01)

C 0 7 K 5/09 (2006.01)

C 0 7 K 5/11 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02 Z N A

A 6 1 P 17/14

A 6 1 K 33/30

A 6 1 K 8/64

A 6 1 Q 7/00

A 6 1 K 8/41

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 8/49

A 6 1 K 8/35

C 0 7 K 5/09

C 0 7 K 5/11

C 0 7 K 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月18日(2009.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

脱毛症の予防および治療的処置に使用する美容用または皮膚科用組成物を製造するための、下記一般式(I)に対応するペプチド、もしくは下記一般式(II)に対応するその複合体、それらの鏡像異性体もしくはジアステレオマー、またはラセミ混合物を含むそれらの混合物の使用。

X-Gly-His-Lys-Y(I) (SEQ ID NO. 1-2)

A-X-Gly-His-Lys-Y(II) (SEQ ID NO. 3-4)

上記式中、Aは、下記に対応する基を表し、

- 一般式(III)のモノカルボン酸



(ここで、Rは、直鎖または分岐の $\text{C}_1 \sim \text{C}_{24}$ 脂肪族基であり、これはヒドロキシル基で置換されていてもよく、1または2以上の不飽和、有利には1～6の不飽和を含んでもよい)

、

- リポ酸もしくはその還元型、ジヒドロリポ酸、N-リボイル-リシン、またはレチノイン酸

Xは、メチル化されていてもよい1～3のリシン残基の鎖を表すか、結合を表し(式(II)の場合)、

Yは-OH または-NH₂基を表し、

アミノ酸はD、LまたはDL形であり、

あるいはA-Xは水素原子を表す。

【請求項2】

一般式(III)の酸が、-リノレン酸、セルボン酸、チムノドン酸、およびピノレン酸から選ばれるオメガ三(-3)系列酸であるか、酢酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ヒドロキシデセン酸、およびデセン酸、特にトランス-10-ヒドロキシ-2-デセン酸およびトランス-オキソ-9-デセン-2酸の中から選ばれる $\text{C}_1 \sim \text{C}_{24}$ 脂肪族基、あるいはリポ酸もしくはその還元型、ジヒドロリポ酸、N-リボイル-リシン、またはレチノイン酸の中から選ばれる酸であることを特徴とする、請求項1記載の使用。

【請求項3】

Aがリポ酸および酢酸の中から選ばれることを特徴とする、請求項1または2記載の使用。

【請求項4】

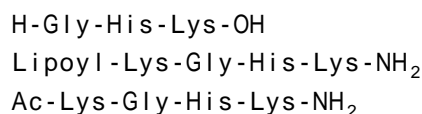
複合体が以下から選ばれることを特徴とする、請求項1～3のいずれかの項記載の使用：

- 1- A-MeLys-Lys-Lys-Gly-His-Lys-NH₂(SEQ ID NO. 5)
- 2- A-MeLys-Lys-Gly-His-Lys-NH₂(SEQ ID NO. 6)
- 3- A-MeLys-Gly-His-Lys-NH₂(SEQ ID NO. 7)
- 4- A-MeLys-Lys-Lys-Gly-His-Lys-OH(SEQ ID NO. 8)
- 5- A-MeLys-Lys-Gly-His-Lys-OH(SEQ ID NO. 9)
- 6- A-MeLys-Gly-His-Lys-OH(SEQ ID NO. 10)
- 7- A-Lys-Lys-Gly-His-Lys-NH₂(SEQ ID NO. 11)
- 8- A-Lys-Gly-His-Lys-NH₂(SEQ ID NO. 12)
- 9- A-Lys-Lys-Gly-His-Lys-OH(SEQ ID NO. 13)
- 10- A-Lys-Gly-His-Lys-OH(SEQ ID NO. 14)

ただし、Aは請求項1～3のいずれかの項で定義した一般式(III)の酸である。

【請求項5】

ペプチドまたはペプチド複合体が以下から選ばれることを特徴とする、請求項1～4のいずれかの項記載の使用：



【請求項6】

ミノキシジル、ニコチン酸エステル、抗炎症剤、レチノイン酸もしくはその誘導体、レチノール、または5-リダクターゼ阻害剤から選ばれた再発毛を改善する化合物をペプチドまたはペプチド複合体と併用することを特徴とする、請求項1～5のいずれかの項記載の使用。

【請求項7】

下記の式(I)に対応する別のペプチド、もしくは式(II)に対応するそのペプチド複合体

、それらの鏡像異性体もしくはジアステレオマー、またはラセミ混合物を含むそれらの混合物、あるいはこれらのペプチドまたはペプチド複合体と形成しうる亜鉛との錯体を、前記ペプチドまたはペプチド複合体と併用することを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれかの項記載の使用。

W-Lys-Asp-Val-Z (I) (SEQ ID NO. 15-16)

A-W-Lys-Asp-Val-Z (II) (SEQ ID NO. 17-18)

式中、

A は請求項 1 ~ 3 のいずれかの項で定義した通りであり、

W は、Z が Tyr-Val-Gln-Leu-Tyr-NH₂、Leu-DOPA、DOPA-NH₂ または HomoPhe-NH₂ を表す場合は Glu-Gln-Arg、Arg-Lys、Arg-Lys-Asp、Arg または結合を表し、

あるいは W は、Z が Tyr-Val-Gln-Leu-Tyr-NH₂、Leu-DOPA、Val-Tyr-OH、Val-Tyr-NH₂、Tyr-NH₂、Tyr-OH、DOPA-NH₂ または HomoPhe-NH₂ を表す場合は Gly-Gln-Gln、または Glu-Gln を表す。

【請求項 8】

美容または皮膚科用組成物が局所適用のためであり、p-アミノ安息香酸、即ち PABA およびそのエステル（例、エチルヘキシルジメチル PABA もしくは PEG-25 PABA）；ケイ皮酸エステル（例、メトキシケイ皮酸エチルヘキシル、p-メトキシケイ皮酸イソアミル、もしくはオクトクリレン）；サリチル酸エステル（例、ホモサレート、もしくはサリチル酸エチルヘキシル）；ベンゾイミダゾール（例、フェニルベンゾイミダゾールスルホン酸）；ベンジリデンカンファー誘導体（例、4-メチルベンジリデンカンファー、ベンジリデンカンファー、カンファーベンザルコニウムメトスルフェートおよびポリアクリルアミドメチルベンジリデンカンファー）；トリアジン（例、エチルヘキシルトリアゾン、ジエチルヘキシルブタミドトリアゾン）から選ばれた UVB 遮蔽剤を併用することを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれかの項記載の使用。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 5 のいずれかの項記載のペプチドまたはペプチド複合体を、場合により請求項 6 および 7 記載の再発毛を改善する化合物、および請求項 8 記載の UVB 遮蔽剤と併用した組成物を頭皮に適用することを含む、脱毛症に対する美容的処置方法。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 5 のいずれかの項記載のペプチドまたはペプチド複合体を、場合により請求項 6 および 7 記載の再発毛を改善する化合物と併用して含む、食品サプリメント。

【請求項 11】

請求項 10 記載の食品サプリメントを投与することを含む、脱毛症に対する美容的処置方法。

【請求項 12】

式：Lipoyl-Lys-Gly-His-Lys-NH₂で示されるペプチド複合体。